

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-172	高等学校	情報	情報 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	情 I 104-901	改訂版 高等学校 情報 I		

1. 編修の基本方針

教育基本法第二条に示す教育の目標を達成するために、各号に対応した次の点を編修の基本方針とした。

1. 他教科との関連を示すことで、情報が幅広い分野との関わりがあることを意識させるように配慮する。また、情報モラルを重視し、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康を意識できるように配慮する。
2. 学習内容に関連の深い職業を紹介することで、情報がさまざまな職業や生活と関わっていることを意識できるように配慮する。
3. 情報社会における法律や制度を取り上げ、情報社会の形成に主体的に参画できる態度を養う。
4. 生命や自然に関する題材を取り上げるなどして、環境の保全に寄与する態度を養う。
5. 他国の題材を取り上げるだけではなく、我が国の技術や文化も取り上げ、我が国と郷土を愛する態度を養う。

2. 対照表

教育基本法第二条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	・ 数学や理科などの科目名を示すことで、他教科の学習内容との関連を示すようにした。 ・ 情報機器を使った作業を行う際、心身の疲れを軽減し、健康を保持できるように、作業時の注意点をまとめた。	p.7 (一覧) (→本書類 p.2 [A]) 後見返し裏 (→本書類 p.2 [B])
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	・ 情報との関連が深い職業を適宜取り上げ、学習内容が将来につながる可能性を意識できるようにした。 ・ 問題解決の学習では、部活動における問題解決を例として扱い、日常生活のさまざまな場面でも応用しやすくなるような記述に留意した。	p.7 (一覧) (→本書類 p.3 [C]) p.16-19

第3号 正義と責任，男女の平等，自他の敬愛と協力を重んずるとともに，公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養うこと。	・ 情報社会に関連するさまざまな法律を取り上げ，情報社会に主体的に参画する態度を養えるようにした。 ・ 著作権について詳しく扱い，他者のもつ知的財産を尊重する態度を身につけることができるように留意した。	p.20-21 p.24-27
第4号 生命を尊び，自然を大切に，環境の保全に寄与する態度を養うこと。	・ さまざまな場面で生命や自然に関する写真を取り上げ，機械的・人工的な写真が中心にならないように配慮した。 ・ 環境保全にも関わる世界的な目標である SDGs を取り上げた。	p.60（表8）， 61（図B）， 138（NOTE） p.47
第5号 伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	・ 日本で開発された OS である TRON が，さまざまな場面で世界的に広く使われていることを取り上げた。 ・ 日本の企業によって開発された「二次元コード」が，広く利用されるようになったことを取り上げた。 ・ 非常口のマークが日本人によって作成されたことを取り上げた。	p.39 p.60 （→本書類 p.3 [D]） p.72 （→本書類 p.3 [E]）

〔A〕 他教科の学習内容との関連

(∇ p.7)

他教科との関連が強い内容		
情報社会と法規・制度	公共	20
架空請求やネットショッピングでの詐欺	家庭基礎	36
話しあってみよう	公共	38
インターネット依存症	保健	41
10 進法と 2 進法	数学 A	51
音のデジタル化	物理基礎	56
負の累乗の計算方法	数学 II	94
論理モデルのシミュレーションの例 1	物理基礎	118
論理モデルのシミュレーションの例 2	物理	119
モンテカルロ法を使った面積の計算	数学 II	121
大数の法則	数学 A	121
データの整理と修正	数学 I	152
度数分布表とヒストグラム	数学 I	154
データの代表値	数学 I	155
時系列データと移動平均	数学 B	155
箱ひげ図	数学 I	156
クロス集計表	数学 I	156
分散と標準偏差	数学 I	157
散布図と相関係数	数学 I	158
回帰分析	数学 B	159
残差と最小 2 乗法	数学 B	159
仮説検定	数学 I 数学 B	161
コインを投げて表が出る確率	数学 B	161
巻末実習 3 プログラミング(2)	数学 B	170
数列と漸化式	数学 B	170
巻末実習 6 データの分析(1)	数学 I	176
巻末実習 7 データの分析(2)	数学 I	178
巻末実習 8 データの分析(3)	数学 I	180

〔B〕 情報機器を使った作業時の注意点

(▼後見返し)



〔C〕 情報との関連が深い職業

(▼p.7)

キャリア教育との関連が強い内容	
弁理士	25
働き方や学校などの変化	41
DTM とサウンドクリエイター	57
アニメーター	62
インダストリアルデザイナー	78
プレゼンテーション資料の作成と評価シート	83
システムエンジニア	97
CAD オペレーター	117
ネットワークエンジニア	128
ウェブデザイナー	139
司書	146
データサイエンティスト	149

〔D〕 二次元コード

(▼p.60)

NOTE

▶ 二次元コード

縦と横の 2 つの方向に情報をもつ表示形式のコード。日本の企業によって開発され、特許をだれでも自由に使えるようにしたため、広く利用されるようになった。二次元コードは、以下の特長をもつ。

- ・バーコードに比べて多くの情報をもつことが可能。
- ・コード内に 3 箇所ある図形によって、どの方向からでも読みとりが可能。
- ・一部に汚れや破損があっても、データの誤りを訂正して復元が可能。

〔E〕 非常口のマーク

(▼p.72)

NOTE

▶ 非常口のマーク

非常口を示すマーク（ピクトグラム）は、日本人によって作成され、その後、国際的な産業規格を策定する国際標準化機構（ISO）によって標準化された。



3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す目標を達成するために、次のような点にも配慮した。

- ・パソコンの基本的な操作やキーボードに関する資料（口絵①、後見返し）を掲載した他、各編の冒頭にて中学校の学習内容も簡潔にまとめ、義務教育段階での学習内容の確認ができるように配慮した（第 1 号）。また、生成 AI に関する資料（口絵⑦）を掲載し、活用だけでなく注意点も確認できるように配慮した（第 3 号）。

パソコンの基本的な操作

（◀口絵①）

パソコンの使いはじめ

まず、電源ボタンを押して、パソコンを起動する。

自分のユーザーIDとパスワードを入力して、ログインする。 (▼p.32)

マウスの操作

● クリック
マウスボタンを目的の位置において、マウスの左ボタンを 1 回だけ押してはなす操作。通常、このボタンがマウスでは、左側のボタンを押してはなすことをクリックするという。

● 右クリック
マウスボタンを目的の位置において、マウスの右ボタンを 1 回だけ押してはなす操作。

● ドラッグアンドドロップ
ドラッグは、マウスのボタンを押したままマウスボタンを移動させる操作。ドロップは、ドラッグしたあとにボタンをはなす操作。一連の操作をドラッグアンドドロップやドラッグともいう。

● スクロール
ホイールを回して、画面を上下に移動する操作。

(◀口絵①)

生成 AI の利用と注意点

（▶口絵⑦）

機械学習や深層学習 (▼p.38) 技術の進歩により、膨大な情報から学習した「モデル」 (▼p.112) を使うことで、利用者の要望にあわせた文章・画像・音楽・動画といったコンテンツを AI が「生成」することができるようになった (▼p.38)。生成 AI は、入力されたプロンプトとよばれる指示を AI が理解することで、文章を生成して質問に回答したり、文章の要約や翻訳・記事の執筆を行ったり、写真やイラストのような画像を真実な生成したりすることができる。一方、生成 AI を利用するときは、著作権の侵害や情報の真偽、情報の漏えいなどに気をつける必要がある。

情報の真偽

プロンプトとして入力したプライベートな情報や秘蔵してある文章などの情報が、モデルの学習に利用される可能性がある。そのため、他人が生成 AI によって「真偽や文章を生成したときに、情報の真偽がどの程度まで保証されているか」という点に注意が必要である。

著作権の侵害

生成 AI は、モデルをつくるためにインターネット上の膨大な文章などのさまざまな情報を収集して学習している。そのため、著作権が認められている情報や著作物などを無断に複製・改変して生成してしまうことがある。生成された画像や文章は、著作権の侵害となることがある。 (▼p.37)

ハルシネーション

生成 AI は自然な文章を生成することができるが、文章の中に嘘が含まれることがある。AI が生成している内容が事実と異なる可能性がある。このような嘘を生成した内容を「ハルシネーション」と呼ぶ。生成 AI が作成した文章は、ファクトチェックを行い、事実かどうかを確認する必要がある。 (▼p.36, 43)

中学とのつながり

- 中学校の「情報の技術」では、情報のデジタル化のしくみを理解し、実社会でどのようなことにデジタル化が使われているのかを学んだ。また、情報のデジタル化やデータ量などに関して学び、目的に応じた適切な形式を選ぶことができるようになった。
- 第2編では、デジタル情報の特徴としくみを理解し、コミュニケーションの進展と、情報を表現する方法を学ぶ。

(◀p.47)

- ・教科書の説明を適切に理解できているかを確認しやすいように、簡単な確認問題である「読解チェック」を適宜取り上げ、学習の一助となるように配慮した（第1号）。



著作権法は、[著作権者の権利を保護／複製などの利用を禁止]する法律である。

(▶p.24)

- ・「Step Up」ではやや高度な内容を適宜扱い、本編をより深く理解できるように配慮した（第2号）。

(▼p.93)



XOR 回路

AND 回路、OR 回路、NOT 回路を使って、別の基本論理回路をつくることもできる。たとえば、2つの入力 A と B が等しいとき 0、異なるとき 1

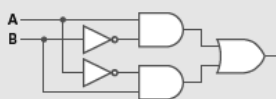


図 XOR 回路

を出力する真理値表と回路は右図のように構成される。この回路は基本論理回路の1つで、**XOR 回路** (排他的論理和回路または EXOR 回路) という。このほか、基本論理回路として、NAND 回路 (否定論理積回路)、NOR 回路 (否定論理和回路) がある。

表 XOR 回路の真理値表

入力		出力
A	B	
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	0

(▼p.109)



入れ子構造と再帰呼び出し

プログラムの中で、内側に同じ構造がくりかえし記述されている構造を**入れ子構造**という。入れ子構造はネストともよばれる。たとえば、分岐構造の内側にさらに分岐構造が入っていたり、反復構造の内側にさらに反復構造が入っていたりするような場合である。また、関数の中でその関数自身をよびだしている構造を、関数の**再帰呼び出し**という。これを使うと、数学 B で学習する漸化式をプログラムで書くことができる。

Python

```
if_a >= b:
    if_c >= d:
        x = b * d
```

図 入れ子構造の例
if を使った分岐構造が入れ子構造になっている。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、担当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-172	高等学校	情報	情報 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	情 I 104-901	改訂版 高等学校 情報 I		

I. 編修上特に意を用いた点や特色

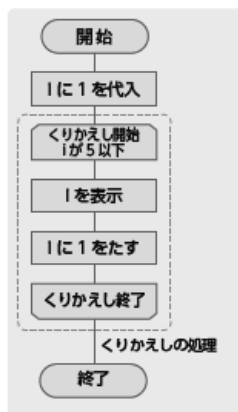
学習指導要領の総則や、高等学校学習指導要領（情報）の目標を達成するため、次の点に留意し、編修した。

① 教えやすさにつながるさまざまな工夫

- ・プログラミングの実習では、アルゴリズムをフローチャートで視覚的に表現した。また、例として扱うプログラミング言語は、学校の実態及び生徒の状況に応じて指導しやすいように、「Python」と「表計算マクロ」の2つを取り上げた。

(▼p.106)

《実習例》



Python ※条件式は、比較演算子を使って、変数を比較する(部分)。

```

1 i = 1
2 while i <= 5:
3     print(i)
4     i = i + 1

```

変数iに1を代入
iが5以下の間くりかえす
iの値を表示
iに1をたす

表計算マクロ

```

1 Sub_反復構造()
2     Dim i As Integer
3     i = 1
4     Do While i <= 5
5         MsgBox i
6         i = i + 1
7     Loop
8 End_Sub

```

プログラムの開始
変数iを整数で設定
変数iに1を代入
iが5以下の間くりかえす
iの値を表示
iに1をたす
くりかえし終了
プログラムの終了

- ・他教科との連携を図りやすくするため、学習内容に関連のある科目名を示し、各学校での指導計画を立てる際の参考として活用できるように配慮した。

(▼p.119)

d 論理モデルのシミュレーションの例2

次に、ボールを斜めに投げあげたときのシミュレーションを行ってみる。この場合は、次のようなモデルが考えられる。

ボールを斜めに投げあげた場合(斜方投射)の論理モデル

- ・左右方向(水平方向)のボールの速さはかわらない。
- ・上下方向(鉛直方向)のボールの速さは、時間とともに一定の割合で



図7 ボールを斜めに投げあげた場合のストロボ写真

- ・情報機器の活用を円滑に行えるように、パソコンの操作に関する資料や、表計算ソフトウェアの操作などに関する資料を豊富に掲載した。

(▼p.190)

表計算ソフトウェアの使い方

基本的な画面構成

①リボン
「ホーム」「挿入」「ページレイアウト」などのタブをクリックすると、さまざまなコマンドのボタンが表示される。

②セル
表を作成するときの基本となるマス目。選択した状態のセルをアクティブセルという。この中にデータや数式を入力する。

③行
横方向のセルの位置を数字で示す。数字をクリックすると行全体を選択できる。

④列
縦方向のセルの位置をアルファベットで示す。アルファベットをクリックすると列全体を選択できる。

⑤ワークシート
セルの集まりで、データ入力や表作成を行う場所。「シート」ともいう。

- ・「用語」や「注意しておきたいこと」などの補足的な説明を、内容によって複数の種類に分け、デザインを変えて、一目で区別できるようにした。

補足：参考になる内容や、補足的な内容

用語：本文以外の重要度の高い用語

類語：関連する用語をまとめた内容

注意：注意すべき点を示した

語源：用語の語源や由来の説明

(▼p.13)

補足

NOTE

▶ 情報を多角的に見る

同じニュースでも、報道機関ごとに報道内容が異なる場合がある。これは同じ情報であっても、伝える立場によって見方や考え方がかわってくるためである。したがって、1つの情報源のみに頼ると、かたよった意見や考え方のみを知ることになるため、より多くの情報源をもち、多角的に情報を収集するようにしたい。

(▼p.38)

用語

NOTE

▶ シンギュラリティ

シンギュラリティ(技術的特異点)とは、人工知能がみずから知能を改良し、いずれ人間より賢くなるときのことである。2045年ごろと予測する説もある。

(▼p.29)

類語

NOTE

▶ ウイルスとワクチン

コンピュータウイルスは、医学用語のウイルスに由来して名付けられた。また、自身のプログラムをコピーすることを「感染」、ウイルスに対抗するプログラムを「ワクチン」という。

(▼p.32)

注意

NOTE

▶ パスワードの使いまわし

SNSや投稿サイトなどのサービスへのログイン、学校内のネットワークへの接続など、ユーザ認証を行う機会は多い。このとき、同じパスワードを使いまわしていると、ユーザIDとパスワードが流出した場合に、他のサービスも不正に利用されることになり、重大なトラブルにつながるため、使いまわさないように注意が必要である。

(▼p.32)

類語

NOTE

▶ ユーザ認証

ユーザ認証を行ってコンピュータシステムへアクセスする手続きをログイン(log in)やログオン(log on)、サインイン(sign in)という。また、ユーザ認証を使用したアクセスを終了することをログアウト(log out)やログオフ(log off)、サインアウト(sign out)という。

② 「主体的・対話的で深い学び」を意識した工夫

- ・話し合いに活用できる要素「話しあってみよう」を適宜用意し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図りやすいように配慮した。

(▼p.13)

話しあってみよう



信頼度が高いと思われる情報源として、具体的にどのようなサービスや組織があるか、その情報源は、なぜ信頼度が高いと思われるのか、話しあってみよう。

- ・より主体的に教科書に取り組めるように、本文には問いかけの要素「Think」を適宜用意し、具体的な問題について考えながら、教科書を読み進められるように配慮した。

(▼p.10)



私たちがふだんの生活の中でよく耳にする「情報」とは何だろうか。

複数のマッチ棒をテーブルの上に投げたとき、たいていはばらばらになり、偶然、マッチ棒が「SOS(または505)」の文字の形になる確率はきわめて低い。図2のような並び方のマッチ棒を見たら、人が手で並べたと思うだろう。

- ・実習の要素では、「実習例」を適宜掲載することで、実習の授業をより円滑に進められるように配慮した。

(▼p.154)

実習 度数分布表とヒストグラム

表2のデータについて、表計算ソフトウェアを使って、度数分布表とヒストグラムを作成せよ。

【実習例】[LINK](#)

区間	度数	累積度数	累積割合
10-14	2	2	0.10
15-19	5	7	0.35
20-24	10	17	0.85
25-29	12	29	1.00
30-34	8	37	1.00
35-39	3	40	1.00
40-44	2	42	1.00
45-49	1	43	1.00
50-54	0	43	1.00
55-59	0	43	1.00
60-64	0	43	1.00
65-69	0	43	1.00
70-74	0	43	1.00
75-79	0	43	1.00
80-84	0	43	1.00
85-89	0	43	1.00
90-94	0	43	1.00
95-99	0	43	1.00
100-104	0	43	1.00
105-109	0	43	1.00
110-114	0	43	1.00
115-119	0	43	1.00
120-124	0	43	1.00
125-129	0	43	1.00
130-134	0	43	1.00
135-139	0	43	1.00
140-144	0	43	1.00
145-149	0	43	1.00
150-154	0	43	1.00
155-159	0	43	1.00
160-164	0	43	1.00
165-169	0	43	1.00
170-174	0	43	1.00
175-179	0	43	1.00
180-184	0	43	1.00
185-189	0	43	1.00
190-194	0	43	1.00
195-199	0	43	1.00
200-204	0	43	1.00
205-209	0	43	1.00
210-214	0	43	1.00
215-219	0	43	1.00
220-224	0	43	1.00
225-229	0	43	1.00
230-234	0	43	1.00
235-239	0	43	1.00
240-244	0	43	1.00
245-249	0	43	1.00
250-254	0	43	1.00
255-259	0	43	1.00
260-264	0	43	1.00
265-269	0	43	1.00
270-274	0	43	1.00
275-279	0	43	1.00
280-284	0	43	1.00
285-289	0	43	1.00
290-294	0	43	1.00
295-299	0	43	1.00
300-304	0	43	1.00
305-309	0	43	1.00
310-314	0	43	1.00
315-319	0	43	1.00
320-324	0	43	1.00
325-329	0	43	1.00
330-334	0	43	1.00
335-339	0	43	1.00
340-344	0	43	1.00
345-349	0	43	1.00
350-354	0	43	1.00
355-359	0	43	1.00
360-364	0	43	1.00
365-369	0	43	1.00
370-374	0	43	1.00
375-379	0	43	1.00
380-384	0	43	1.00
385-389	0	43	1.00
390-394	0	43	1.00
395-399	0	43	1.00
400-404	0	43	1.00
405-409	0	43	1.00
410-414	0	43	1.00
415-419	0	43	1.00
420-424	0	43	1.00
425-429	0	43	1.00
430-434	0	43	1.00
435-439	0	43	1.00
440-444	0	43	1.00
445-449	0	43	1.00
450-454	0	43	1.00
455-459	0	43	1.00
460-464	0	43	1.00
465-469	0	43	1.00
470-474	0	43	1.00
475-479	0	43	1.00
480-484	0	43	1.00
485-489	0	43	1.00
490-494	0	43	1.00
495-499	0	43	1.00
500-504	0	43	1.00
505-509	0	43	1.00
510-514	0	43	1.00
515-519	0	43	1.00
520-524	0	43	1.00
525-529	0	43	1.00
530-534	0	43	1.00
535-539	0	43	1.00
540-544	0	43	1.00
545-549	0	43	1.00
550-554	0	43	1.00
555-559	0	43	1.00
560-564	0	43	1.00
565-569	0	43	1.00
570-574	0	43	1.00
575-579	0	43	1.00
580-584	0	43	1.00
585-589	0	43	1.00
590-594	0	43	1.00
595-599	0	43	1.00
600-604	0	43	1.00
605-609	0	43	1.00
610-614	0	43	1.00
615-619	0	43	1.00
620-624	0	43	1.00
625-629	0	43	1.00
630-634	0	43	1.00
635-639	0	43	1.00
640-644	0	43	1.00
645-649	0	43	1.00
650-654	0	43	1.00
655-659	0	43	1.00
660-664	0	43	1.00
665-669	0	43	1.00
670-674	0	43	1.00
675-679	0	43	1.00
680-684	0	43	1.00
685-689	0	43	1.00
690-694	0	43	1.00
695-699	0	43	1.00
700-704	0	43	1.00
705-709	0	43	1.00
710-714	0	43	1.00
715-719	0	43	1.00
720-724	0	43	1.00
725-729	0	43	1.00
730-734	0	43	1.00
735-739	0	43	1.00
740-744	0	43	1.00
745-749	0	43	1.00
750-754	0	43	1.00
755-759	0	43	1.00
760-764	0	43	1.00
765-769	0	43	1.00
770-774	0	43	1.00
775-779	0	43	1.00
780-784	0	43	1.00
785-789	0	43	1.00
790-794	0	43	1.00
795-799	0	43	1.00
800-804	0	43	1.00
805-809	0	43	1.00
810-814	0	43	1.00
815-819	0	43	1.00
820-824	0	43	1.00
825-829	0	43	1.00
830-834	0	43	1.00
835-839	0	43	1.00
840-844	0	43	1.00
845-849	0	43	1.00
850-854	0	43	1.00
855-859	0	43	1.00
860-864	0	43	1.00
865-869	0	43	1.00
870-874	0	43	1.00
875-879	0	43	1.00
880-884	0	43	1.00
885-889	0	43	1.00
890-894	0	43	1.00
895-899	0	43	1.00
900-904	0	43	1.00
905-909	0	43	1.00
910-914	0	43	1.00
915-919	0	43	1.00
920-924	0	43	1.00
925-929	0	43	1.00
930-934	0	43	1.00
935-939	0	43	1.00
940-944	0	43	1.00
945-949	0	43	1.00
950-954	0	43	1.00
955-959	0	43	1.00
960-964	0	43	1.00
965-969	0	43	1.00
970-974	0	43	1.00
975-979	0	43	1.00
980-984	0	43	1.00
985-989	0	43	1.00
990-994	0	43	1.00
995-999	0	43	1.00
1000-1004	0	43	1.00
1005-1009	0	43	1.00
1010-1014	0	43	1.00
1015-1019	0	43	1.00
1020-1024	0	43	1.00
1025-1029	0	43	1.00
1030-1034	0	43	1.00
1035-1039	0	43	1.00
1040-1044	0	43	1.00
1045-1049	0	43	1.00
1050-1054	0	43	1.00
1055-1059	0	43	1.00
1060-1064	0	43	1.00
1065-1069	0	43	1.00
1070-1074	0	43	1.00
1075-1079	0	43	1.00
1080-1084	0	43	1.00
1085-1089	0	43	1.00
1090-1094	0	43	1.00
1095-1099	0	43	1.00
1100-1104	0	43	1.00
1105-1109	0	43	1.00
1110-1114	0	43	1.00
1115-1119	0	43	1.00
1120-1124	0	43	1.00
1125-1129	0	43	1.00
1130-1134	0	43	1.00
1135-1139	0	43	1.00
1140-1144	0	43	1.00
1145-1149	0	43	1.00
1150-1154	0	43	1.00
1155-1159	0	43	1.00
1160-1164	0	43	1.00
1165-1169	0	43	1.00
1170-1174	0	43	1.00
1175-1179	0	43	1.00
1180-1184	0	43	1.00
1185-1189	0	43	1.00
1190-1194	0	43	1.00
1195-1199	0	43	1.00
1200-1204	0	43	1.00
1205-1209	0	43	1.00
1210-1214	0	43	1.00
1215-1219	0	43	1.00
1220-1224	0	43	1.00
1225-1229	0	43	1.00
1230-1234	0	43	1.00
1235-1239	0	43	1.00
1240-1244	0	43	1.00
1245-1249	0	43	1.00
1250-1254	0	43	1.00
1255-1259	0	43	1.00
1260-1264	0	43	1.00
1265-1269	0	43	1.00
1270-1274	0	43	1.00
1275-1279	0	43	1.00
1280-1284	0	43	1.00
1285-1289	0	43	1.00
1290-1294	0	43	1.00
1295-1299	0	43	1.00
1300-1304	0	43	1.00
1305-1309	0	43	1.00
1310-1314	0	43	1.00
1315-1319	0	43	1.00
1320-1324	0	43	1.00
1325-1329	0	43	1.00
1330-1334	0	43	1.00
1335-1339	0	43	1.00
1340-1344	0	43	1.00
1345-1349	0	43	1.00
1350-1354	0	43	1.00
1355-1359	0	43	1.00
1360-1364	0	43	1.00
1365-1369	0	43	1.00
1370-1374	0	43	1.00
1375-1379	0	43	1.00
1380-1384	0	43	1.00
1385-1389	0	43	1.00
1390-1394	0	43	1.00
1395-1399	0	43	1.00
1400-1404	0	43	1.00
1405-1409	0	43	1.00
1410-1414	0	43	1.00
1415-1419	0	43	1.00
1420-1424	0	43	1.00
1425-1429	0	43	1.00
1430-1434	0	43	1.00
1435-1439	0	43	1.00
1440-1444	0	43	1.00
1445-1449	0	43	1.00
1450-1454	0	43	1.00
1455-1459			

④ 自学自習をしやすくする工夫

(▼p.206)

- ・問、例題、編末問題、総合問題と、さまざまな種類の問題と、それらの解答・解説を用意することで、自学自習も進めやすいように配慮した。
- ・教科書に掲載した二次元コードから、本編を補足する解説や、関連する映像・画像・リンク、図版のアニメーション、確認問題、実習に関連するデータなど、さまざまなデジタルコンテンツにアクセスし、学習の参考にできるようにした。
- ・太字の用語にはルビを振った他、参考として英語の表記も適宜記載した。
- ・カラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を使用することによって、より多くの人が利用しやすいように配慮した。
- ・プログラミング言語や著作権に関する資料など、さまざまな資料を豊富に掲載し、学習の参考にできるように配慮した。また、ページ番号には、2進法と16進法の表記も掲載し、適宜参照できるようにした。

(▼p.204)

擬似言語の例

擬似言語 (→p.105) は、アルゴリズムの説明や試験問題のために使われる架空の言語である。実際のプログラミング言語には、さまざまな種類があるが、資格試験や大学入学試験などのプログラミングの問題では、どの言語を学んでも理解できる表記を使うことで、試験の公平性を保っている。

ここでは、本書のプログラミングの問題で使用している擬似言語の表記の例を示す。なお、擬似言語の表記は、試験の種類や出題される問題ごとに異なるため、問題文中の説明や指示に注意が必要である。また、ふだんの学習では、プログラムの言語や表記によらず、アルゴリズムを正しく読み解けるようにすることが大切である。

変数・文字列

例	意味
goukei	goukei という名前の変数。(変数名は英字ではじまり、英数字と「_」を使用できる。)
Data[1]	Data という名前の配列の添字 1 の要素。(配列名は英大文字ではじまる。特に説明がない場合、配列の要素を指定する添字は 0 からではじまる。)

⑤ 興味関心を高める工夫

- ・見開きの右下には、ぱらぱら漫画を配置し、教科書をめくることで、動画のしくみを理解できるように工夫した。

(▶p.9)



2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1編 情報社会の問題解決 第1章 情報とメディア 第2章 情報社会における法とセキュリティ 第3章 情報技術が社会に及ぼす影響	(1) ア(ア), イ(ア) (1) ア(イ), イ(イ) (1) ア(ウ), イ(ウ)	p.10-19 p.20-37 p.38-43	13
第2編 コミュニケーションと情報デザイン 第1章 情報のデジタル表現 第2章 コミュニケーション手段の発展と特徴 第3章 情報デザイン	(2) ア(ア), イ(ア) (2) ア(ア), イ(ア) (2) ア(イ), ア(ウ) イ(イ), イ(ウ)	p.48-65 p.66-71 p.72-83	17
第3編 コンピュータとプログラミング 第1章 コンピュータのしくみ 第2章 プログラミング 第3章 モデル化とシミュレーション	(3) ア(ア), イ(ア) (3) ア(イ), イ(イ) (3) ア(ウ), イ(ウ)	p.88-95 p.96-111 p.112-123	20
第4編 情報通信ネットワークとデータの活用 第1章 ネットワークのしくみ 第2章 データベース 第3章 データの分析	(4) ア(ア), イ(ア) (4) ア(イ), イ(イ) (4) ア(ウ), イ(ウ)	p.128-143 p.144-149 p.150-161	20
計			70